

おれんじニュース

No310

2016年1月号

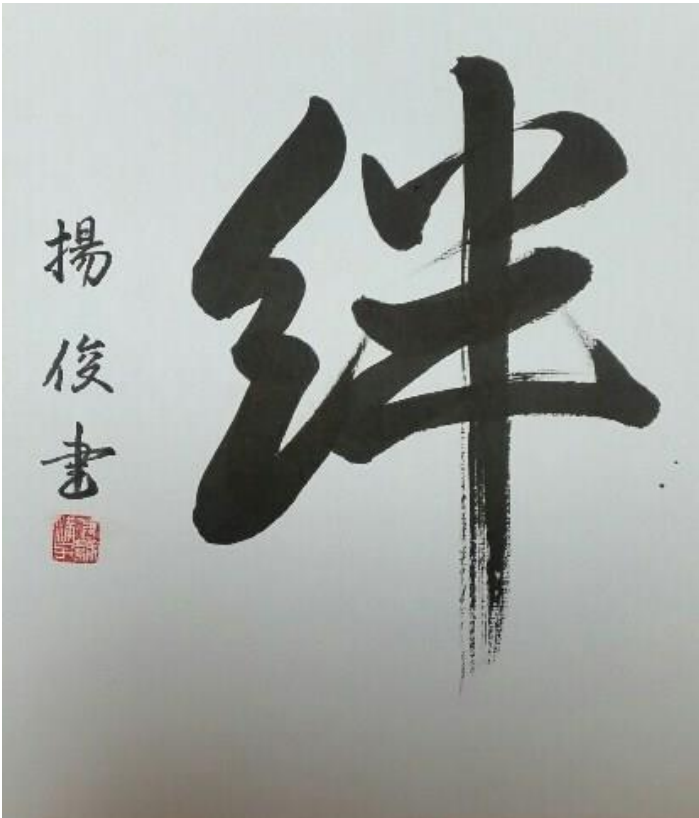


賀正

2015年12月7日、師走とは思えない様な上天気の日。日の出を写しに御館山に登った。
2016年も又元気に御館山に出かけようと思った。

今月号の記事	年末、年始の行事・県連の行事案内（地図とコンパス学習、冬山、アルパインク ライミング）・水曜登山の案内・南島原キリシタン遺跡探訪、古処山、四王寺山、 田原山、猿葉山
--------	--

	2016年1月	2016年2月	時 間	場 所
運営委員会	12日(火)	9日(火)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	27日(水)	24日(水)	19:00~21:00	



あけまして
おめでとう
ございます。
今年も平和な一年で有ります様に。
そして沢山登山が楽しめますように！

書 下釜ミツ子さん

新年は猿年、猿葉神社でおみくじで引いている
オレンジHCメンバー。大吉？



2016 / 1 月の山行



部	山行部		技術研修部	自然保護部	ひまわり山行部
月/日(曜)	1/8(金)・1/9(土)		1/16(土)～1/17(日)	1/24(日)	1/29(金)
山名(行事)	諏訪神社～ 妙相寺	英彦山～ 若宮神社	16/羅漢山(1109.1m) 17/三倉岳(701.8m)	琴路岳(340m)・ 唐泉山(410m)	帆場岳・ 四ツ峠
地 図	長崎東北部	長崎東南部	玖波・宇佐郷(広島県)	鹿島・牛屋	長崎東北部
集合場所	西諫早駅 7:19		諫早駅裏 7:20 西諫早駅 7:30	諫早駅裏 8:00 西諫早駅 8:10	諫早駅 7:25 発 西諫早 7:30 発
難 易 度	体力 2 技術 1	体力 3 技術 1	羅漢山(体力 1・技術 1) 三倉岳(体力 2・技術 2)	体力 2・技術 1	体力 1.5 技術 1
帰着時間	15:00		20:00	18:00	17:00
歩行時間	4h	3h	羅漢山(2.5h) 三倉山(6h)	5h	5.5h
交通手段	JR & 路面電車		マイクロバス	マイクロバス	JR、バス
宿泊施設	無し		民宿、どんぐりの山	無し	無し
温泉	無し			無し	無し
参加費	交通費のみ		15000	2500	交通費のみ
申込期限			1/10	1/8(金)	1/27
集 約	高森		山下文代	山口	林孝子
備 考	長崎の初登りは七高山から。今年は前、後半 2 回に分けて、誰でも参加出来る様に計画しました。 一年の登山の安全を祈りましょう。		広島の山に登ります。ミニ大崩と言われるように面白い変化にとんだ山です。羅漢山の山頂の蛇紋岩は磁性を示す岩です。コンパスを置いて試してみましょう。	琴路岳山頂からの眺望は素晴らしい。唐泉山は名水の不動水が有名です。祐徳神社の初詣と酒蔵巡り & 新年飲み会を計画しています。	帆場岳(長崎では三ツ山の名で良く知られている)から現川峠、小場峠、中尾峠、日見峠の四つの峠に行くハイキングコース
感想文提出	1/19		1/26	2/4	2/9

県連行事案内……(参加申込 事務局 鎗水まで)

冬山・地図・コンパスの学習：(川棚 虚空蔵山) 2016年1月23日

雪山登山：恐羅漢山(広島県) 2016年2月13～14日

比叡山岩登り(アルパインクライミング)： 2016年4月2日

元日の初日の出を御館山で

毎日歩いている御館山で初日の出を見てお祝いのお酒を飲みましょう。車ではこないでくださいね。お酒、御肴は各自持参でお願いします。駐車場の上広場に 7:00 集合



2016 / 2 月の山行

	山行部	自然保護部	ひまわり山行部	技術研修部
月/日(曜)	2/6(土)	2/21(日)	2/26(金)	2/28(日)
山名(行事)	仰鳥帽子	黒髪山&藤の尾梅園	小江~小長井	釈迦ヶ岳御前岳
地 図	頭地	有田・蔵宿	諫早・湯江・肥前大浦	十籠・豊後大野
集 合 場 所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅 8:00 西諫早駅 8:10	JR 諫早駅 7:54	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難 易 度	体力 1 技術 2	体力 1 技術 2	体力 1 技術 1	体力 1 技術 1
帰 着 時 間	20:00	18:00	16:30	17:00
歩 行 時 間	3.5h	3.0h	5.5h	3.5h
交 通 手 段	マイクロバス	マイクロバス	JR&県営バス	マイクロバス
宿 泊 施 設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	?	無し	無し	?
参 加 費	5000 円	3000 円	交通費のみ	5,000 円
申 込 期 限		2/21	2/24	2/25
集 約	高森	山口	林孝子	山下文代
備 考	山肌一面に残る残雪を解かし、顔をのぞかせる黄金の福寿草を見に行きます。	乳待坊から黒髪山の岩峰を眺めながら登り住吉城跡へ 1 周します。藤の尾梅園は 6500 本で多分見頃です。	12 月の続きを歩きます。小長井からは JR で帰る事も出来ます。牡蠣の美味しい季節ですね。	福岡県、大分県の境に位置している津江山地は稜線歩きも快適です。霧氷が見られたらラッキーですね。
感想文提出	2/16	3/1	3/6	3/8

技術研修部だより (参加の連絡・川原)

セルフレスキュー

1月30日(土) 9:30 西諫早駅 レスキュー始めです。

水曜登山：水曜日に多良岳を中心に山に登っています。西諫早駅 8:00 出発です。

年末年始を金泉寺で

多良岳、金泉寺で年越しをします。多良岳山頂で初日の出を迎えましょう。



2015年11月/12月の山

11月8日(日)

南島原キリシタン遺跡探訪(自然保護部)

(参加者) 坂本、佐原、下釜、森(由)、鎗水、工藤、森(寿)、岩永、小山、松田、中野、山口、松岡、山下(ち)、田中(静)、佐藤、中里、(一般)小山令夫人、松岡令嬢、(19名)

(行程) 西諫早駅前 8:10→西望公園・記念館 9:25→同所発 10:10→有馬キリシタン遺産記念館 10:30→同所発 11:20→原城跡 11:50→同所発 12:40→日野江城跡 14:00→同所発 14:30→原城温泉「真砂」14:40→同所発 15:35→諫早駅裏 17:05

(感想) マイクロバスは、予定の時刻に上記の19名を乗せて発車し、諏訪の池経由で9時25分西望公園・記念館に着いた。そこで説明を受け、順路に従って見て回ったが、西望公園は西望さんの生誕の地であり、その家屋が記念館になっており、相当の年数が経っているがしっかりしている。それは建築材が大きく良質なことが関係しているものと思われた。

最初に西望さんのお父さんが作られたという仏壇、見事な物で素人の作品とは思えないほどのものであった。館内や公園内には西望さんの作品が、数多く展示されてあった。

そこでの観覧等を終え、次の目的地である有馬キリシタン遺産記念館へと徒歩で向かい20分程で着いた。そこでもガイドの方から説明を受け、有馬セミナリヨのことや天正遣欧少年使節4人のことなどの説明を受けた。



そこでキリシタンについての資料の展示物の観覧を終え原城跡へと、徒歩で向かい、11時50分に着いた。

そこで、昼食をとりその後中里さんから説明を受け、次の目的地である日野江城跡へと歩きだした。道路を歩いているうちに有馬川沿いに大きな十字架が立てられているのが見えたので、なんだろうと近づいてみたら、そこは「有馬川殉教地」であった。

そこから20分位歩くと道路脇に「有馬セミナリヨ跡」との石柱が立てられていた。そこから登坂になり登っていると「日野江城跡500メートル」との表示された所から右へ、そこからは登坂も少々きつくなり、本丸跡近くになっ

たら階段になり、はあー、はあーと息を弾ませながらやっと本丸跡にたどり着いた。

説明によると日野江城は原城と違い山城であったとのことで見晴らしは抜群で、原城跡



帯は勿論、海を隔てて天草方面一帯も望むことができた。帰りは日野江城跡下にマイクロバスが待っていたので、そのマイクロバスで原城温泉「真砂」へ、そこで一風呂浴びさっぱりした気分です。15時35分諫早を目差してマイクロバスは走り出した。

今回の遺跡探訪は、大変有意義なもので、たまにはこんな事もいいなと思った。有馬キリシタンのことやセリナリヨについて学ぶことができたのは私にとって大きな収穫であった。また今回はバスで移動するのではなく、徒歩での移動。この組み合わせ。さすがだなと思った。

歩きながら冗談を言いながら和気あいあいと楽しく一日を過ごさせて頂きました。

(佐藤 記)

11月13日(金)

古処山(859.5m)ひまわり山行部

(参加者) 兵庫、福岡、工藤、吉川、山下(文代)、松岡、 一般(松岡多恵子)(7名)

(行程) 諫早駅前 6:20—西諫早駅 6:55—(車)—9:05 古処林道終点 9:20—10:30 古処山頂 10:50—11:20 大将隠し—11:50 古処山(昼食) 12:15—13:30 八丁越入口 14:05—(車 秋月)—17:40 西諫早駅

(感想) 残念ながら小雨降る中での出発となりました。ジャンボタクシーで林道終点広場まで上がってもらったので大幅な時間短縮となりました。全員雨具を着用して9時30分出発。雨足がさほど強くないのが幸いでした。あしにとっても優しい九州自然歩道を40分ほど歩く8合目の「水舟」につきました。此処からは自然林となりカエデやモミジ等の落ち葉を踏みしだきながら上がって行



きました。見下ろすと緩やかな斜面にカエデの黄色と数は少ないけれど十分紅葉したモミジが点在しブナ、ナラ等の木々の間にうっすらと乳白色の霧がかかって、昔見た黒沢監督の「七人の侍」で花が咲き乱れる谷間で木村功扮する若侍と香川京子の庄屋の娘が出会うシーンを彷彿としました。

この後ツゲがビッシリと貼り付くように群生している中を進んで10時30分山頂に到着。

このころには雨も小休止状態となり山頂で濡れずに昼食を取る事ができました。時間の余裕があるので「奥の院」まで行ってみようという事で30分程進んだところで岩と岩の間に5、6人は身を潜めそうな隙間がある「大将隠し」と呼ばれているところにつきました。自分としては「姫隠し」なんていうのもあったら色っぽくていいんじゃないかと思いつつ「奥の院」直前まで行っただけですが、かなり急な鎖場があって雨でとても滑りやすくなっていたので断念引き返しました。帰りは八丁堀コースを下山することになりました。1時30分、ジャンボタクシーとの待ち合わせ場所に決めていた八丁越え入り口に到着したのですがジャンボタクシーの姿は無く。携帯は通じず途方にくれていたところ、福岡の森林パトロールの車が通り、職員の方の温かい協力が無事ジャンボタクシーを呼び戻すことができました。一同、手を叩き拝まんばかりに感謝の一礼をしました。



特筆すべきは〈普賢饅頭店〉の巨大饅頭でも大奮闘した山下(文)さんがパトロールカーに駆け寄って遠慮して固辞する職員の方に「伊木力のミカンです。」と出まかせを言いつつ強引に手渡したのがとても印象的でした。小柄な人って押しが強い人が多いんだと実感。そして、ゆっくり雨上がりの秋月の城下町を散策して無事5時30分諫早に帰着することができました。(松岡 記・写真 多恵子さん)



アケボノソウ

11月22日(日)

四王寺山(大城山) 410m技術研修部

(参加者) 山下ち、松岡、松田、佐原、森(寿)、高森、林(和)、田村、下釜、大久保、川原、福岡、中里、中野、松園(一般)、 (15名)

(行程) 諫早駅裏 6:20—西諫早駅 6:40—大宰府政庁跡 8:50—自然歩道登山口 9:40

大城山 10:50—野外音楽堂(昼食) 11:05—大原山 13:00—焼米が原 13:25—岩屋城址 13:55—高橋紹運の墓 14:30—大宰府政庁跡 15:30—観世音寺 16:20 戒壇院 16:40—二日市温泉 17:20—諫早着 20:20

(感想)

天気は曇り。しかし昨日までの天気予報は雨だったので曇りでも満足して出発。四王寺山と大野山との関係がつかめなかったが、説明版によると「四王寺山の名で親しまれるこの山は昔大野山とも呼ばれ万葉集にも歌われています。665年にこの山全体を城とする大野城が築かれ、大宰府



大城山山頂

を守る役目を果たしました。延々続く尾根はその時の土の城壁であり、所々に石垣や礎石も残っています。」ということでなんとなく全体像がつかめた。このように説明版、道路標識があちらこちらに設置された県民の森であり、山全体はよく整備されている。大宰府政庁跡から出発するが、あちこちに熟した実を残した柿の木、少し盛りを過ぎた紅葉、そして落ち葉を踏みしめながらなだらかな山道を歩いていると石仏に出会う。

なだらかな道が多いが時には急坂が出てくる。長くは続かないので自然と話し声もひと際にぎやかで静かなたたずまいの秋の山も今日ばかりはオレンジHCの賑わいに驚いているかもしれない。出発から2時間ほどで毘沙門天堂に着く。石仏や史跡を探し出しては寄り道をしながら、これでは今日中には帰れないよと言いながらもゆっくりとした歩調はなかなか変わらず、こんな山行もまたいいものである。

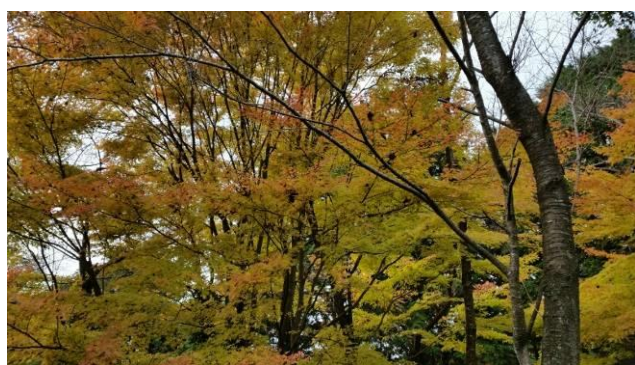
しばらく行くと音楽活動はあまり行われていそうもない野外音楽堂に出る。

そこのベンチを利用して少し早い都在这里で昼食となる。昼食後150メートルも続いていたという百間石垣へ行く。石垣の南側には地下水の排出をするための吐出口が作られるなど当時の技術の高さを知ることができるが、数回の水害で埋まり、また発掘するという苦労が重なっている。

しかしそのときに新しい遺跡も出てきたそうである。地形的に尾根が城壁だったのだろうと想像できるところもたくさんあるし、目を移すと木イチゴやムラサキシキブなどが彩りをそえている。尾根に出ると現在の大宰府市が一望できる。市街地のすぐそばに山城跡があり、そこを県民の森として整備されていることに感心する。今日は古代



大原山山頂



の大宰府を取り囲むようにして守った大野城を創造しながら歩いた歴史散歩の一日だった。下山後、由緒ある観世音寺と戒壇院を見学して、せっかく素晴らしい歴史道をたどった一日を洗い流すことのないよう注意しながら温泉につかり帰途についた。

(中野 記)

11月28日(土)

田原山(542m)山行部

(参加者) 鎗水、中須賀、田中(静)、松岡、松田、川原、田村、福岡、間ノ瀬、林(和)、大久保、高田

(行程) 西諫早駅6:00～鳥栖JCT～大分農業文化公園～
妙善坊登山口9:15/9:30～大観峰10:30～八方岳
10:55～昼食～無名岩12:35～熊野磨崖仏13:55



大観峰

～熊野神社登山口駐車場14:20～山香温泉風の郷14:45/15:30～西諫早19:10

(感想)

今日は遠方の為 6 時に西諫早駅を 12 名で出発する。

辺りはまだ薄暗い、ほどなく窓越しに景色が見えてきた。どんよりとした空模様で雨が心配である。大分農業文化公園と言うながたらしい名前のインターを降り、妙善坊登山口へ 10 時着。片道 4 時間はさすがに長い。ストレッチとコンパス調整をして登山開始。狭い緩やかな登りを進む。足元にはサンショウ、マンリョウ、ノイチゴ等が見られる。M氏は都度立ち止りノイチゴを取っては口に運んでいる。昔懐かしい味なのだろう。進むにつれ岩壁がそそり立つ、その先端を歩く人が小さく見える。今からあの絶壁を歩くのかと思うとぞっとする。



八方岳

みが見える。

分岐 2 に着きいよいよ岩場である。5m ほど続く金具のハシゴやクサリ・ロープを握って登ったり、下ったりと忙しい。途中から急登になり息がはずむ。狭い岩場を登りきり大観峰着。

360 度の景観はすばらしい。由布、鶴見の山並みが見える。

大観峰から八方岳へは足場を確認しながらクサリを頼りに慎重に岩場を降りる。尾根づたいの絶壁では足がすくむ。Hさんが「スリル満点よ」と喜んでいるが、僕にとっては「恐怖満天」である。今日はあまり風が無くて助かった。八方岳からは鋸の様な岩山がいくつもつらなっている。360 度山また山である。岩にはイワマツが群生していた。

ひとつエロティックな岩があり、O氏が、Mさんに「ほら、おもしろか岩があるよ」と指さすと Mさん「あ～」と生返事。「もっとキャー！とかステキとか言ってよ」と O氏期待はずれにお冠。この太陽岩だけは記憶に残りました。

頂上では落ちないように縦に並んでの記念写真。

昼食は傾斜の狭い所で早々に済ませたが少し下りると広々とした休憩ポイントがあり、



熊野磨崖仏

他のグループが寛いでいた。それを横目に、又、岩稜のアップダウンへと進む。無名岩を過ぎたあたりから樹木に囲まれたいつもの土道となり快適に下っていったが、道に迷ってしまった。皆んな分かりにくい標識に八つ当たりとなる。14 時前に熊野魔崖仏へ到着。

ここにバスを来てもらう事になり 1 時間程の短縮

となった。

このコース変更は腰に違和感があった僕には大歓迎、内心「ホッと」した。

雨に降られることもなく、帰路につく。途中「ワイナリー」へ寄る話もでたが温泉だけとなり、山香温泉でゆっくり入浴し、予定より早く諫早着となりました。

田原山、別名「鋸山」さすがに険しい岩場で緊張の連続であったが、又登ってみたいと冒険心をそそる山だったと思います。計画、段取り頂いた方ありがとうございました。

(高田 記)

12月6日(日)

猿葉山(364m)

(参加者) 森(寿)、大久保、山口、松岡、下釜、柿森、吉川、田村、兵庫、松田、工藤、山下ち、中里、 (13名)

(行程) 西諫早駅 8:00—猿葉山南登山口 9:00—猿葉神社入口 9:30—猿葉神社
10:00—猿葉山頂上 11:00—千々岩少年自然の家 12:00(昼食)—下山 13:00
富津方面—西諫早

(感想) 猿葉山南登山口からゆるやかな林道を歩き、朱塗りの鳥居や鳥居跡が連なる参道を経てほどなく猿場神社に到着。小さな本殿脇の大岩や朝からお参りされる方々に神妙な気持ちになりました。

猿葉山へは桧林の中を、途中倒木を何か所も乗り越えて進み、歩き始めて一時間半で山頂へあっけな



く到着しました。

ここで三角点探し。見つけた人にはCLからご褒美がでるとのことで全員であちこち探しましたが、結局見つけることはできませんでした。

早く到着してしまったので予定を変更して千々石少年自然の家まで行くことになりました。わずか1キロの下り、

自然の家の林間ハイキングコースと気楽に考えていましたが、風倒木に行く手をさえぎられ、枝をへし折り、またいだり、くぐったり、道を探して、1時間半かかって自然の家に着きました。

滑りやすく気を抜けない下りでしたが、枯枝枯葉がフワフワとクッションになって心地よかったです。

自然の家で昼食をとり、旧小浜鉄道廃線跡の木津街道に下りて、むかご採りにも興じ、道端のゴミを拾いながら歩きましたが、自動車道路の急な崖下には大量のゴミが投げ捨てられており、悲しくなりました。

10年ぶりにオレンジハイキングクラブの山行に参加しましたが、自然保護部主催な山行では毎回ゴミ拾いをされているとのことで感動しました。

曇っていて展望はスッキリしませんでした。楽しい山行でした。



(柿森紀和子 記・写真も)

歴史を尋ねて四王寺を歩きました

百間石垣を登ったりばんざーいしてみた

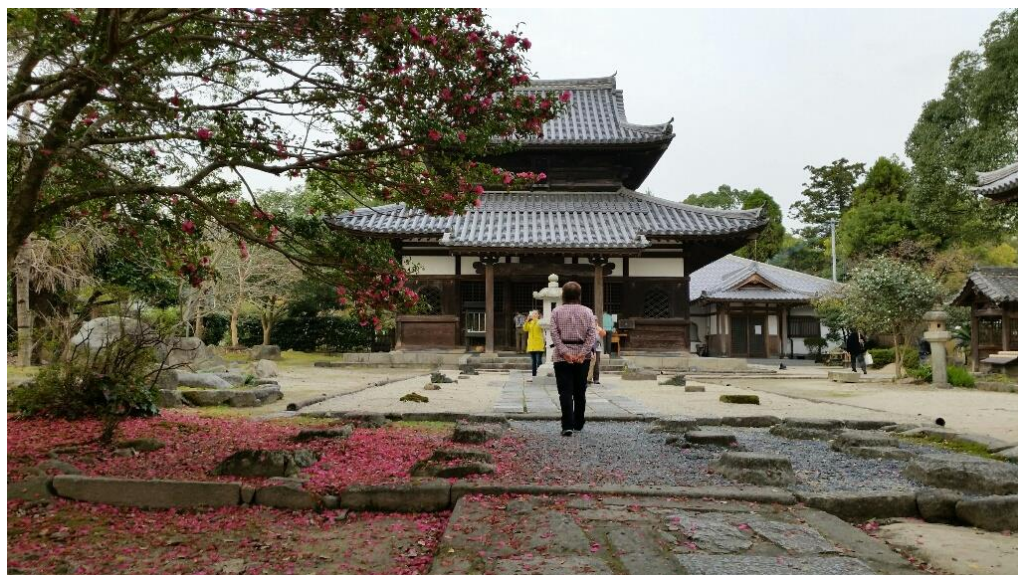


大手門の跡地で並んでみた。
礎石をふまないでください。



岩屋城址

戒壇院



おれんじニュース 310	
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡 正 廣
編集責任者 及び 編集委員	山下ちず子 兵庫芳隆、中野美津子、林和子 山下文代、鎗水律夫
発行年月日	2015.12.23
財政担当	田中静香
郵便振替口座	01826-6-43775 オレンジハイキングクラブ
ホームページ	http://orangehikingclub.com

あっという間に新年号を迎えてしまいました。2010年の3月号から編集に携わってますから今年の3月号で6年目を迎えます。新年号の表紙は特別な気がしてあちこち写真を撮りに出かけていたのですが、だんだん手じかな場所で済ませています。申し訳ありません。その分、皆様の力作を期待しています。よろしくお願いします。本年も宜しくお願いします。

山下ちず子